県立鳥取商業高等学校受変電設備更新工事

図面番号		×	面	名	称
E- 00	図面リスト				
E- 01	電気設備工事?	特記仕様書(1)			
E- 02	電気設備工事	特記仕様書(2)			
E- 03	付近見取図、	配置図			
E- 04	受変電設備	単線結線図、参	涛装柱図		
E- 05	受変電設備	電気室改修図、	電気室断面図	、盤正面図]

縮尺
NS
NS
NS
S=1/600
NS
S=1/30, NS



法

山根設計

YAMANE

00

二級建築士事務所 鳥取県知事登録(05)第2104号

二級建築士 池谷 美弥子 登録番号 第3166号

TITLE	県立鳥取商業高	県立鳥取商業高等学校受変電設備更新工事									
DRAWING NAME	図面リスト										
DATE	2023.11	SCALE	NS	DRAWING	Е —						

-	事概要	市湖山			_	争	行	āC	仕	₹	Ī			
番号	2 物概要 建物名 ^{県立鳥取商業高等学}	械室)	構 道 CB		<u>階数</u> 1	延べ面積	準法による (m) 1.4		 令別表第一の区)項)項)項)項)項)項 		備	考		
3 エ 工事和 (● 動力設計 ● 電動力設計 ● 電子構構 ● 構構 ● 一個一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中		2			5 	屋外 二 <				考 			中央監社 キャニー テレビ電
 電気方式 非常用則 誘導灯 電気方式 ・ 電気方式 ・ 電気方式 	照明器具 式	分岐 ・ 避難 幹線 ・ 突針	 単相2 LE[二 三相3 三相3 一 ・ <li< td=""><td>2線式() ・) 階段通 3線式2 3線式2 東上け導</td><td>● 10 蛍光灯 函路 ● 00V 00V</td><td>0 ∨ ● 白 ● 庫下通 ● 単林 ● 単林 その他金</td><td> 200< 熱灯 路● 目2線式2 目2線式(</td><td>室内通路 00V 〔● 100</td><td> ● 直流2線式 電源 ● 「 ● 単相3線 ● V ● 2 </td><td>電池内蔵冊</td><td>≶ • ¶ ∕ 2 0 0 \</td><td>፪源別置形 /</td><td></td><td></td></li<>	2線式() ・) 階段通 3線式2 3線式2 東上け導	● 10 蛍光灯 函路 ● 00V 00V	0 ∨ ● 白 ● 庫下通 ● 単林 ● 単林 その他金	 200< 熱灯 路● 目2線式2 目2線式(室内通路 00V 〔● 100	 ● 直流2線式 電源 ● 「 ● 単相3線 ● V ● 2 	電池内蔵冊	≶ • ¶ ∕ 2 0 0 \	፪源別置形 /		
 避雷導導 接地極 電気方式 契約電力 契約電力 設備方式 機器類 	ť.	 建築 高低改新 正圧修営屋 ・高圧 	 ・ 突針 ・ 棟上け導体 ・ その他金属体 () ・ 建築構造体利用 ・ 引下げ導線 ・ 建築構造体利用 ・ 接地極埋設 高圧 三相3線式 6.6 kV ・ 医相3線式200V ・ 単相3線式100/200V ・ 単相2線式 (・100V ・ 2000) ・ 定相3線式200V ・ 単相3線式100/200V ・ 単相2線式 (・100V ・ 2000) ・ 取存設備 ・ kW ・ 新営工事 ・ 100 kW未満 ・ 100 kW以上500 kW未満 ・ 500 kW以上 ● 屋内形 ・ 屋外形 ・ キュービクル式配電盤 (・ P F 形 ・ C B - 1 形 ・ C B - 2 形) ・ 高圧スイッチギア、変圧器盤 (C B - 3 形) ※ 変圧器 三相 kVA、単相 kVA ・ 油入 ・ モールド 主遮断器 ・ 限流ヒューズ ・ VC B 						200V)					

	項目	特記事項	⑥機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。 また、製造者等が定められている機材については、Ⅲ.機材によるほかこれらと同等以上のものとする。ただし、
電力貯蔵設備	 ● 直流電源装置 	 用途 ● 非常用照明器具電源および受変電設備制御電源共用 ● 受変電設備制御電源専用 ● 非常用照明器具電源専用 蓄電池 ● MSE形鉛蓄電池 ● MSE形鉛蓄電池 	一 般 进 事 項	これらと同等以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ 監督職員に提出して承諾を受ける。 なお、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は
ν π	 交流無停電電源装置 (UPS) 	 ・ 「SID: 新 歯 電池 ● MISEID: 卸 歯 電池 ● (A H) 形式 ● 標仕によるUPS ● 簡易形UPS ・電算機用 ● 	⑦ 機材の品質・性能証明	評価書の写しを監督職員に提出するものとする。 使用する機材が皿.機材による場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2(2)の品質及び性能を有すること の証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績書等は除く。
発電設備	 ● 自家発電装置 	 電気方式 三相3線式 ● 6.6 k V ● 210 V 機器類 形式 ● キュービクル形 ● 簡易形 ● オープン形 ※雪糕 (ビクルド ● ご / ビリー につき 	 ⑧ 施工図等 ⑨ 完成写真等 	提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編 平成30年版」によるほか、 監督職員の指示による。下記のものを提出する。
備	 太陽光発電装置 R + 25 = 12 = 2 	発電機(k V A 以上) 原動機 ● ディーゼル ● ガスタービン 防油堤 ● コンクリート製 ● 鉄板製(● 本工事 ● 別途工事) モジュール ● 結晶シリコン ● 薄膜 ●		区分 分類・規格 撮影箇所 部数 電子データの提出 工事写真 カラーサービス判 各工種工程毎 ※ 1部 ● 要 ● 不要 完成写真 カラーサービス判 監督職員の指示による ※ 2部 ● 部 ● 要 ● 不要
	 ● 風力発電装置 		(1)完成図等	次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。
	 構內情報通信網設備 構內交換設備 情報表示設備 	 機器 配管のみ 配管のみ 配管のみ 配管のみ 電話機 ボタン電話装置 配管のみ 配管及び配線 マルチサイン装置 出退表示装置 時刻表示装置 		区分 名称 部数 ※完成図原図 完成図・原紙 ※ CADデータ ※ PDFデータ 施工図・原紙 ● CADデータ ● PDFデータ 1 部
	 ・ 時報公示設備 ・ 映像・音響設備 ・ 拡声設備 	 ● 増幅器 ● スピーカー ● プロジェクタ ● スクリーン ● その他() 用 途 ● 非常放送 ● 個別放送 		※ 完成図 2つ折製本 ※ 完成図 ※ 完成図 ※ 完成図 ※
通信	● 誘導支援設備	● 音声誘導装置 ● 身体障害者用インターホン装置 ● トイレ等呼出し装置		※ 完成図書 ● 完成図(縮小版) ※ 2部
情報	● テレビ共同受信設備	 ・ インターホン ・ テレビインターホン ・ ナースコール ・ アンテナ(・ UHF ・ BS ・ CS) ・ CATV 		※ A 4 版市販ファイル ※ 主要機器図 ● A 4 版黒表紙製本 ※ 試験成績書
設	 監視カメラ設備 駐車場管制設備 	 ● カメラ ● ビデオモニタ ● タイムラプスVTR ● 配管のみ ● 配管及び配線 車両検知方式 ● 光線式 ● ループコイル式 		※ 保守用説明書 ※ 保守に関する指導案内書 ※ 2部 ※ 機器取扱説明書 ※ 1000000000000000000000000000000000000
備	 ● 防犯・入退室管理設備 ● 自動火災報知設備 	機器 (● 本工事 ※ 別途工事) 配管 (※ 本工事 ● 別途工事) 配線 (● 本工事 ※ 別途工事) ● 受信機 (● P型 ● R型) ● 副受信機 ● 中継器 ● 感知器 ●		A 4 版ファイル ● 部 ※ 保証書 1 部
火災報知設備	 自動閉鎖設備 非常警報設備 ガス漏れ火災警報設備 	連動制御器(回線 ● 単独 ● 火報受信機と一体) 感知器(● 共用 ● 専用) 複合装置 ● 一体形(※ 一般型 ● 防雨型) ● 単独 受信機(回線 ● 単独 ● 火報受信機と一体 ● LPガス用 ● 都市ガス用)		※ 官公署届出書類 1 部 ③ 原図ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。
			11 他工事との取合い	他 工 事 と の 取 合 い 電気設備 機械設備 建 築
中 制 央御設 視 備	 形式 監視制御対象設備 伝送方式 	 ・ 警報盤 ・ 表示操作盤 ・ 監視制御装置 ・動力設備 ・ 受変電設備 ・ 自家発電設備 ・ 防災設備 ・ 照明制御 ・ 給排水設備 ・ 空調設備 ・アナログ方式 ・ デジタル方式 ・ 		・ コンクリート壁、床、梁貫通部 補 強 ・ ※ ・ 鉄骨造の開口及び補強 ・ ※
				 ● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート(くぎ処理共) ※ ●
構内配電線路	 ● 電気方式 	三相3線式(● 6.6kV ● 200V) ● 単相3線式100/200V ● 単相2線式(● 100V ● 200V)		● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地 ※ ● ● 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の 仮 枠 ※ ●
称路	 施工方法 外灯点滅方式 	 ● 地中埋設式 ● 架空線式 ● 手動 ● 自動(● タイマー ● 自動点滅器 ● 中央監視) 		補強 ・ ・ ・ • OAフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強 ・ ・ ・
構 信 夃 線 通 路	● 用途	 ● 電話用 ● 時計拡声用 ● 火災報知用 ● インターホン用 ● 情報通信網用 ● CATV 		 ・ 埋込形機器取付用の天井、壁の下地材・仕上げ材 切り込み※ ・ 補強・ ※
通路	● 施工方法	 ● 地中埋設式 ● 架空線式 		 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ <ul< td=""></ul<>
テ波隙 レ障割 ビ害備	 ● 対策方策 ● 責任分界点 	 ● 都市形CATVへの加入 ● 共同受信方式(● 共同アンテナ ● 館内用アンテナ用) ● 各戸の保安器一次側 ● 		● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線 ● ※ ● ● 機器用コントロールスイッチ(空調機、給湯器等)の取付及び配線 ● ※ ●
Ⅱ.	特記仕様			・ テレビアンテナ 基礎・・・※ アンカーボルト※・・
	1 一 般 事 項 (1)現場説明書、質問回答書、	特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様等のうち、④ 印		・ 天井点検口 ・ ・ ※ ・ 自立型制御盤の基礎 ※ ・ ・
	の付いたものによる。 ④ 公共建築工事標準仕様	書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「標準仕様書」という。)		・機器類のコンクリート基礎 屋内・屋外設置 ※ ・ ・ 屋上設置 ・ ・ ※ ・ ※
	● 公共建築設備工事標準	社様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「改修標準仕様書」という。) 図(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「標準図」という。) 2緒部監修の「電気設備工事監理指針(令和4年版)」(以下「監理指針」という。)を適用する。	(2) 工事用電力・水・その他(3) 表示板	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。 設ける。(寸法等は下図による。建築工事、機械設備工事等と一括して表示する) ※ 工事表示板 ● お願い表示板
	2 特 記 事 項			
	(1)項目は番号に 〇 印の付い (2)特記事項のうち選択する事	かたものを適用する。 §項は ④ の付いたものを適用する。		建築工事中 地色白 御通行中の皆様へ 地色白 地色白 地色白 地色白 地色白
	-	④ 印の付いたものを適用する。 ④ と ⊗ の付いた場合は共に適用する。 ○ 2, 4, 8, 9, 11, 12, 13, 14, 15, 35) 項は、● 建築 ● 機械設備 工事特記仕様書による。		エ事名 OOOOOOS新築工事 構造・規模 や地記号 5YR6.5/11 令和OO年O月工事完成予定 *>地記号 5YR6.5/11 電気のOOOの2 工事期間 で和のの年の月からの年の月まで (拡大カラーコピーを張り付けてもよい) *>**********************************
	項目			002 設計者 000000設計 監理者 00環境建築局建築住宅課 000000設計 施工者 00000建設 (拡大カラーコピーを張り付けてもよい) 事業の目的 000000000000000000000000000000000000
 	 官公署その他への手続 2 電気保安技術者 	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。 工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者 の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。 なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1.3.2によるものとし、一般用電気工作物に係る		
般共通事項	 ③ 電気工事士 4 工事安全計画書等 	工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。 契約電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。 建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。		記入要領 施工者 OOOOOO建設 運解先 TEL OO-OOOO 1.書体は角ゴシックとする。 連絡先 TEL OO-OOOO 2.お願い表示板は平易な表現及び内容とし、 建築住宅課 OO担合事務所環境建築局 建築住宅課 OODOO
	⑤ 発生材の分析及び処理	 Accompany Accom	14 踢 鳥取県	監督員が指示するものとする。 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工
		 (● PCB使用機器 ● アスベスト含有設備資機材 (● 配線用遮断機 ●)) PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 撤去予定機器の微量PCB分析 ※ 無し ● 有り 	月1日 5 年15 月 2 3 0 1 1 8 東部建築住宅 事務所	1」より行う。
		TITLE 県立鳥取商業高等	学校受変電設備更新工事	
		DRAWING NAME 電気設備工事特記仕 様		
		DATE 2023.11 S 0	CALE NS DRAW NO	VING F — 01 - 二級建築士 池谷 美弥子 登録番号 第3166号

	項目		⑥ 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。
電気設備工事特記仕様書	でした 電 力 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	用途 非常用照明器具電源および受変電設備制御電源共用	 般 共	また、製造者等が定められている機材については、Ⅲ.機材によるほかこれらと同等以上のものとする。ただし、 これらと同等以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ
I. 工事概要	ラ	 ● 受変電設備制御電源専用 ● 非常用照明器具電源専用 蓄電池 ● HS形鉛蓄電池 ● MSE形鉛蓄電池 ● (Ah) 	· · · · ·	監督職員に提出して承諾を受ける。 なお、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は 評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
1 工事場所 烏取市湖山町北二丁目	 ● 交流無停電電源装置 (UPS) 	形式 ● 標仕によるUPS ● 簡易形UPS 用途 ● 電算機用 ●	(7) 機材の品質・性能証明	使用する機材がⅢ.機材による場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2(2)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績書等は除く。
2 建物概要	 ● 自家発電装置 	電気方式 三相3線式 ● 6.6kV ● 210∨	 ⑧施工図等 ⑨完成写真等 	提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編 平成30年版」によるほか、
番号 建物名称 構造 階数 建築基準法による 延べ面積(m) 消防法施行令別表第一の区分 備考 1 県立鳥取商業高等学校(機械室) CB 1 51.4 (7)項 改修工事	発 電 設 備	機器類 形式 ● キュ—ビクル形 ● 簡易形 ● オープン形 発電機(k V A 以上) 原動機 ● ディーゼル ● ガスタービン		監督職員の指示による。下記のものを提出する。 部数 電子データの提出
2 ()項 3 ()項	● 太陽光発電装置	防油堤 ● コンクリート製 ● 鉄板製 (● 本工事 ● 別途工事) モジュール ● 結晶シリコン ● 薄膜 ●		工事写真 カラーサービス判 各工種工程毎 ※ 1部 ● 部 ● 要 ④ 不要 完成写真 カラーサービス判 監督職員の指示による ※ 2部 ● 部 ● 要 ④ 不要
4 ()項 5 ()項	 ● 風力発電装置 	風車 ● プロペラ形 ●	110 完成図等	次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。
3 工事種目 (③ 印の付いたものが対象工事種目)	 構内情報通信網設備 構内交換設備 	 ● 機器 ● 配管のみ ● 配管及び配線 ● 交換機 ● 局線中継台 ● 電話機 ● ボタン電話装置 ● 配管のみ ● 配管及び配線 		区分 名称 部数 完成図●原紙 ※ CADデータ ※ PDFデータ 1 部
番号 1 2 3 4 5 屋外 備 考	 ● 情報表示設備 ● 映像・音響設備 	 ● マルチサイン装置 ● 出退表示装置 ● 増幅器 ● スピーカー ● プロジェクタ ● スクリーン ● その他() 		施工図 ・ 原紙 ・ CADデータ ・ PDFデータ ※ 完成図 2つ折製本 ※ 完成図 ※ 完成図(縮小版) ※ 2部
● 電灯設備 ● 動力設備	● 拡声設備 通 ● 誘導支援設備 信	 用 途 ● 一般放送 ● 非常放送 ● 個別放送 ● 音声誘導装置 ● 身体障害者用インターホン装置 ● トイレ等呼出し装置 		● 施工図 ● 部 ※ 完成図書 ● 完成図(縮小版) ※ 2部
● 電熱設備 ● </td <td>・ 「青 ● テレビ共同受信設備</td> <td> インターホン テレビインターホン ナースコール アンテナ(・UHF ・BS ・CS) CATV </td> <td></td> <td>※ A 4 版市販ファイル ※ 主要機器図 ・ A 4 版黒表紙製本 ※ 試験成績書</td>	・ 「青 ● テレビ共同受信設備	 インターホン テレビインターホン ナースコール アンテナ(・UHF ・BS ・CS) CATV 		※ A 4 版市販ファイル ※ 主要機器図 ・ A 4 版黒表紙製本 ※ 試験成績書
● 受変電設備 〇 <th< th=""> <th< td=""><td> </td><td> ● カメラ ● ビデオモニタ ● タイムラプスVTR ● 配管のみ ● 配管及び配線 車両検知方式 ● 光線式 ● ループコイル式 </td><td></td><td>※ 保守に関する指導案内書 ※ 2部 ※ 機器取扱説明書 ***</td></th<></th<>	 	 ● カメラ ● ビデオモニタ ● タイムラプスVTR ● 配管のみ ● 配管及び配線 車両検知方式 ● 光線式 ● ループコイル式 		※ 保守に関する指導案内書 ※ 2部 ※ 機器取扱説明書 ***
●電力貯蔵設備 ●<	 (備 ● 防犯・入退室管理設備 ● 自動火災報知設備 	機器 (● 本工事 ※ 別途工事) 配管 (※ 本工事 ● 別途工事) 配線 (● 本工事 ※ 別途工事) ● 受信機 (● P型 ● R型) ● 副受信機 ● 中継器 ● 感知器 ●		A 4版ファイル ・ 部 ※ 保証書 1 部
 構内情報通信網設備 構内交換設備 		連動制御器 (回線 ● 単独 ● 火報受信機と一体) 感知器 (● 共用 ● 専用) 複合装置 ● 一体形 (※ 一般型 ● 防雨型) ● 単独		※ 官公署届出書類 1 部 ④ 原図ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。 1 部
 ● 情報表示設備 ● 映像・音響設備 通 ▲ ▲	備 ● ガス漏れ火災警報設備	受信機 (回線 ●単独 ● 火報受信機と一体 ● LPガス用 ● 都市ガス用)	11 他工事との取合い	他 エ 事 と の 取 合 い 電気設備 機械設備 建 築
• 拡声設備 信 • 誘導支援設備 情 報 日	中 制 央 御 監 設 留 備 ● 形式 ● 形式 ● 影式 ● 影式 ● 影式	 ● 警報盤 ● 表示操作盤 ● 監視制御装置 ● 動力設備 ● 受変電設備 ● 自家発電設備 ● 防災設備 ● 照明制御 ● 給排水設備 ● 空調設備 		・コンクリート壁、床、梁貫通部 補 強 ・ ※ スリーブ・箱入 ※ ・ ・
・ テレビ共同受信設備 設 ・ 監視カメラ設備 備	● 伝送方式	 ● アナログ方式 ● デジタル方式 		・ 鉄骨造の開口及び補強 ・ ・ ※ ・ 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート(くざ処理共) ※ ・ ・
 ● 駐車場管制設備 ● 防犯・入退室管理設備 ■ 協犯・入退室管理設備 	構 体 内 配	三相3線式(● 6.6kV ● 200V) ● 単相3線式100/200V ● 単相2線式(● 100V ● 200V)		・ 転切協具・Y+W++の市 5/ハルドホインタード(くと処理ス) 、 ・ ・ 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地 ※ ・ ・ 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の 仮 枠 ※
• 火災報知設備 • 中央監視制御設備	電 線 路 ● 施工方法 ● 外灯点滅方式	 ● 単位 3 線式 100 / 200 / ○ 単位 2 線式 (○ 100 / ○ 200 /) ● 地中埋設式 ● 架空線式 ● 手動 ● 自動(● タイマー ● 自動点滅器 ● 中央監視) 		・ ほどの電量・端子量・ジルボックスの設存及び建築のほどのの 岐 イキ ※ ・ 補強 ・ ・ ・ ・ OAフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強 ・ ・ ※
● 医療関係設備 ● ● 構内配電線路 ●			-	● 埋込形機器取付用の天井、壁の下地材・仕上げ材 切り込み ※ ● ●
 ● 構内通信線路 ● テレビ電波障害防除設備 □ □	丙線 ● 用途 通 路 ● 施工方法	 ● 電話用 ● 時計拡声用 ● 火災報知用 ● インターホン用 ● 情報通信網用 ● CATV ● 地中埋設式 ● 架空線式 		補強・ ・ ※ • 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ・ • ※
● 機械設備工事 ●	テ波除 レ障設 ビ害備 まにい思し	 都市形CATVへの加入 ● 共同受信方式(● 共同アンテナ ● 館内用アンテナ用) 		・電気室、自家発電機室などの基礎及びピット(蓋を含む) ・ ・ ※ ・ 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線 ・ ※ ・
 ● 建築工事 □ □		 ● 各戸の保安器一次側 ● 	_	・機器用コントロールスイッチ(空調機、給湯器等)の取付及び配線 ・ ※ ・ ・ テレビアンテナ 基 礎 ・ ※
4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)	Ⅱ. 特記仕様 1 一般事項	•		アンカーボルト ※ ● ● 天井点検口 ● ●
 の付いたものを適用する。 	の付いたものによる。	、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様等のうち、● 印		● 自立型制御盤の基礎 ※ ● ● 機器類のコンクリート基礎 屋内・屋外設置 ※ ●
項目 特記事項	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「標準仕様書」という。) 準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「改修標準仕様書」という。)	(12) 工事用電力・水・その他	屋上設置 ● ※ 本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。 ● ※
● 電気方式 (1) (1	(2)国土交通省大臣官房官庁	準図(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「標準図」という。) 営繕部監修の「電気設備工事監理指針(令和4年版)」(以下「監理指針」という。)を適用する。	13 表示板	 設ける。(寸法等は下図による。建築工事、機械設備工事等と一括して表示する) ※ 工事表示板 お願い表示板
備 ● 非常用照明器具 光源 ● LED ● 蛍光灯 ● 白熱灯 電源 ● 電源別置形 ● 誘導灯 ● 避難口 ● 階段通路 ● 廊下通路 ● 室内通路	(3) 機械設備工事及び建築工 2 特 記 事 項	事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。 夏		
	(1)項目は番号に 〇 印の付	•		建築工事中 地色白 御通行中の皆様へ 地色白 地色白 地色白 地色白
設備 分岐 ● 三相3線式200V ● 単相2線式(● 100V ● 200V)	-	※ 印の付いたものを適用する。 ④ と ⑧ の付いた場合は共に適用する。 , 2, 4, 8, 9, 11, 12, 13, 14, 15, 35) 項は、● 建築 ● 機械設備 工事特記仕様書による。		工事名 OOOOOOS新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 O階建 延べ面積OOOOm2 **が起号 5YR6.5/11 令和OO年O月工事完成予定 **が起号 5YR6.5/11 施工事期間 会和OCEO日からCFO日本の 簡単なパース、又は立面図を掲載する 5YR6.5/11
雷 ● 受雷部 ● 突針 ● 棟上け導体 ● その他金属体() 保 ● 避雷導線 ● 建築構造体利用 ● 引下げ導線	項 目	特 記 事 項	-	002 工事期間 令和〇年〇月から〇年〇月まで 設計者 〇〇〇〇〇〇段計 監理者 〇〇環境建築局建築住宅課 〇〇〇〇〇〇〇段計 (拡大カラーコピーを張り付けてもよい) 事業の目的 事業の目的
ipg /備 ● 接地極 ● 建築構造体利用 ● 接地極埋設	 官公署その他への手続 一 	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。		施工者 OOOOO2建設 OOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOO
 ● 電気方式 高圧 三相3線式 6.6kV 低圧 ● 三相3線式200V ● 単相3線式100/200V ● 単相2線式(●100V ● 200 	2 電気保安技術者 V)	工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者 の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。		通販県〇〇総合事務所環境建築局 建築住宅課 地色白 現在の進捗率〇〇% 連発生空課 〇〇日当 連発先 の〇一〇〇〇〇 工事期間中は、ご迷惑をおかけしますが、ご理解と
● 契約電力 改修工事 既存設備 ● kW 変電 新営工事 ●100kW未満 ●100kW以上500kW未満 ●500kW以上	● 共 通 事 項 ● 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1.3.2によるものとし、一般用電気工作物に係る 工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。		ご協力よろしくお願いします。 ご協力よろしくお願いします。 記入要領 施工者 QQQQOQ建設
設備方式 ● と設備方式 ● 屋内形 ● 屋内形 ● 屋内形 ● 屋外形 ● 機器類 ● キュービクル式配電盤(●PF形 ● CB-1形 ● CB-2形)	項 ③ 電気工事士 4 工事安全計画書等	契約電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。 建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。		連絡先生
 ● 高圧スイッチギア、変圧器盤(CB-3形) 変圧器 三相 kVA、単相 kVA ● 油入 ● モールド 	(5)発生材の分析及び処理	引渡しを要するもの ※ 無し ● 有り(引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。	14 2場 鳥取県	監督員が指示するものとする。 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工
主遮断器 ● 限流ヒューズ ● VCB		特別管理産業廃棄物 ※ 無し ● 有り ●本工事において調査を行う (● PCB使用機器 ● アスベスト含有設備資機材(● 配線用遮断機 ●))	令和5年度 」2301181	法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据え置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式に より行う。
		 PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 撤去予定機器の微量PCB分析 ※ 無し ● 有り 	東部建築住宅事務所	
令和5年4月改定版		DRAWING 雪气設備工事性記什样	学校受変電設備更新工事	
			CALE NS DRAWIN NO	YAMANE 二級建築士事務所 鳥取県知事登録(05)第2104号 JG 「細建築士 潮炎」 差改之, 務長承号, 第2166号

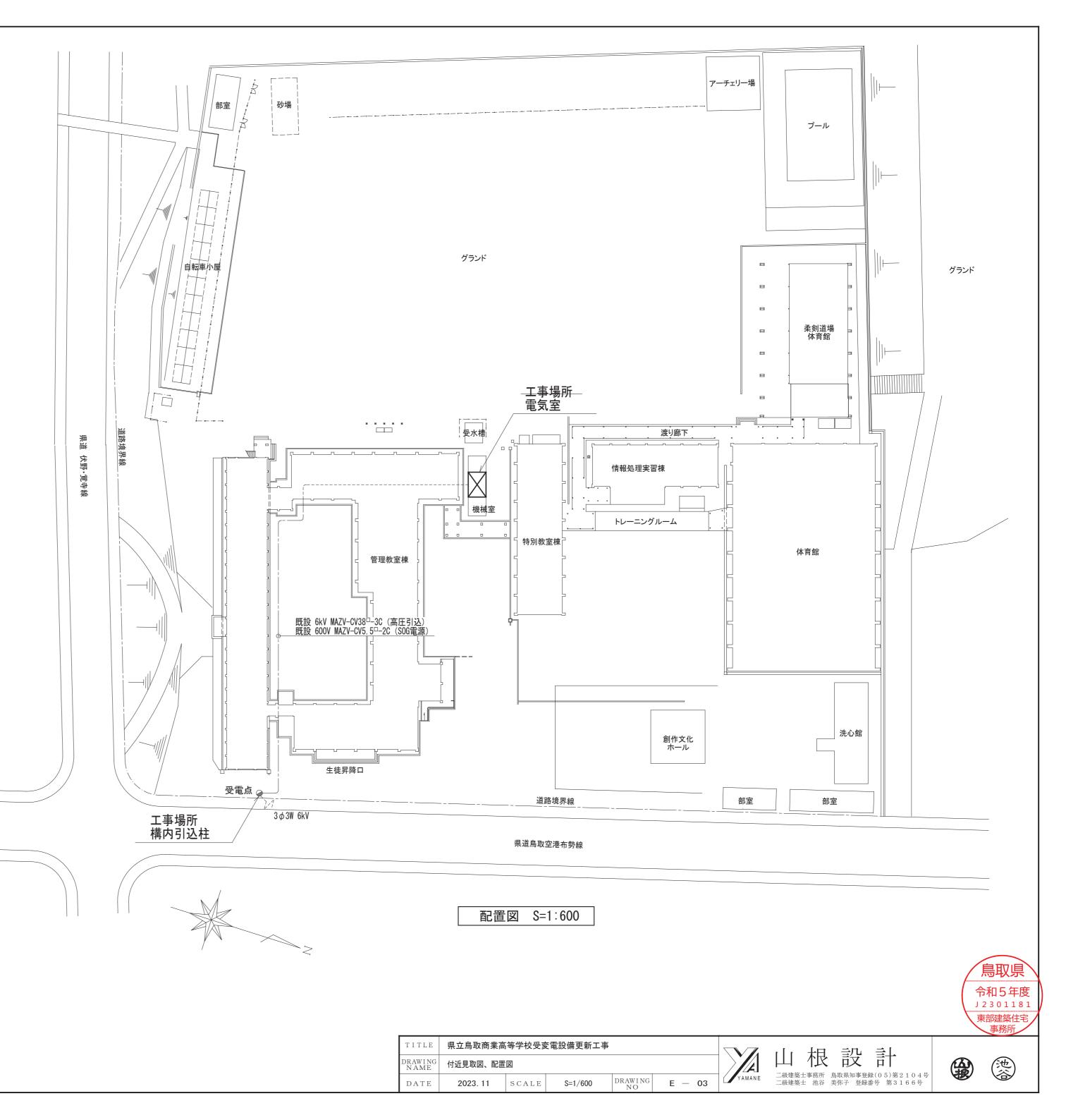
15 工事用仮設物	構内につくることが ※ でき	る ・ できない					 30 補修など 	工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。	10	1 増幅器		形 ● ラック形)			● Lo形)
(16) 土工事		土の中の良質土 ● 山砂の数		● 真砂土()			既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。	拡 声 設 備		 増幅器の入出 	出力配線と外部配管(壁ボック	7ス等)の接続はコネクター	による。	
(17) 雨炉杯		に搬出し適切に処埋 ※構成			堆積	浜		探査方法 ※電磁誘導式 ● 放射線透過検査 ●	11	1 音声誘導装置	検出方式 (●	磁気方式 ● 無線方式	 画像認識方式) 		
① 電線類		ら、原則としてEMケーブルを使 ないまのけいロゲン及び公を合っ				·····································	33 あと施工アンカー	 1)施工後確認試験 ※ 行わない ● 行う 	[誘] 導 支援						
EM電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。 通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。				試験方法 引張試験機による引張試験 確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引抜き力以上	12	1 自動火災報知設備	受信機(●	型 級 回線 (蓄積型)	● 複合形 ● 単独	形)					
		る。ただし、製造者標準品と特調		v 0				確認強度 対象機器ことのアフガーホルト「本にTF用する引扱さ力以上 試験箇所数 1施工単位に対し1本以上	~ ※	2 自動閉鎖設備		※ ラッチ式 • 電磁式)			
		3。たたし、 変進 日禄 平 品 と 内留 用 O A タップのケーブルはハログ		い材料とする。				対象機器 ● 配電盤 ● 発電装置 ● 直流電源装置 ● 太陽光発電装置	災報		 防煙ダンパー 	─用(※ 電動復帰 ● 手	動復帰)		
- 18 電線本数・管路等		の2次側以降の配線経路、電線フ			若を受けて変		34 室内空気中の化学物質の濃度測定		設備			ター用(※ 別途工事 ● :	本工事)		
	更してもさしつかえない。						(35) 火災保険等	工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。	The second secon	3 ガス漏れ火災警報設備	│ 検知器(● 天 │	并取付形 ● 壁取付形)			
(19) 屋外露出配管の仕上げ	屋外露出配管(厚鋼電線管)で	ご塗装を行わない場合は、溶融	』亜鉛めっき仕上げ [め	めっき付着量 300g/	'㎡以上] と		Ŭ	(保険の加入期限は、工事完成引渡しまで[概ね工期+21日]とする。)		1 施工方法	埋設深さ ※	GL-300以上、舗装のあ	る場合は路盤下一300以	とする。	
	する。						36 鳥取県公共事業環境配慮指針	※ 対象工事			•	GL-600以上(• 車路	各 ● 高圧配線 ●	幹線●)
20 露出配管の塗装(付属品含む)	塗装する部分 ●屋上 ●	,屋側 ●屋外 ●廊下	● 機械室 ● 居	居室()	•		37 建築物省エネ法	※ 対象工事		2 地中箱		鋳型流込み(鳥取県又は鳥取			
21 波付硬質合成樹脂管(FEP)	波付硬質合成樹脂管(FEP)	を使用する場合は不燃又は難炊	燃性とする。						13	③ 高圧負荷開閉器		 行う。アスファルト舗装面に 軽耐塩形 ● 重耐塩形) 			
22 フラッシュプレートの材質	 金属製(ステンレス、新金) 	属も含む) ● 樹脂製					1 照明器具	1) LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。	構		● 避雷器内蔵	聖嗣塩形 ● 里酮塩形)	● 地稻松电品内(※	刀间注 ● 無刀	山江)
23 カバープレートの表示	シール等を貼付し、用途を表示	する。				1		LEDの光源色 (※ 昼白色 ● 温白色 ● 電球色)	内			置までの制御ケーブルを付属す	+ Z		
	ステンレス製プルボックスの営	送 ※ 無 (素地仕上)	●有(指定色仕上)			雷	2 一般照明の照度測定	測定結果を監督職員に提出する。(測定箇所等は、監督職員の指示による。)	電線	4 高圧ケーブルの端末部		両端部にシースの縮み対策(「れ止め対策等)を行	5.
25 耐震施工	設備機器の固定は、次に示す認	設計用地震力に耐える方法とする	る。ただし、重量1k	k N以下の一般機器に	Oいて、製造		3 非常用照明の照度測定	※ 設置した各部屋2箇所以上 ●	路	⑤ 高圧ケーブルの屋外端末処理	 ● 一般形 (_			
		する場合は、この限りではない。	°			灯	4 照明制御の照度測定等	明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督	我	6 標識シート	※高圧・				
	1)機器の据付け及び取付け					設		員の指示による。		7 照明用ポール	照明用ポールに	に は配線用遮断器(トリップ機	能なし)又はカットアウト	、イッチ(素通しヒュ	ーズ)を内蔵する。
		重量 [kN]に、地域係数と次に						照度測定時期 100%点灯時(※夜間 • 昼間)			だし、ガーデン	ライトは除く。			
	設計用標準水平震度		 ● 特定の施設 			備		調光制御点灯時(※ 夜間 ※ 昼間)	14	1 施工方法	埋設深さ ※	GL-300以上、舗装のあ	る場合は路盤下一300以	とする。	
	設置場所	機器種別	重要機器 一般:	股機器 重要機器			م <u>الله ۵۵</u> . مالخ ۱۰		構		•	GL-600以上(•	•)		
	上層階	機 器		1.5	1.0	動力	1 機器への接続	※ 電動機などへの接続は本工事とする。 ● 別途工事	通信	2 地中箱		・ 鋳型流込み(鳥取県又は鳥取 (こ)、フラフラールレダはます。			
	屋上及び塔屋	防振支持の機器	2.0	2.0	1.5	設備			線路	3 標識シート		行う。アスファルト舗装面に		_{も盍はアスファルト舗}	装用とする。
		水 槽 類		1.5	1.0	3	1 大地抵抗率の測定	 工事着手前に大地抵抗率を測定し、測定表及び接地極省略判定記録書を監督職員に提出する。 				 電話 CATV ていたい事項は オペア (一))「建生物」- レフー・	,ド惑,信陪宝钿太西/
				1.0	0.6	電保護	2 外部雷保護設備接地システム	● 構造体利用接地極 ● A型接地極 ● B型接地極	15	1 調査仕様		,ていない事項は、すべて(一: * *			
	中間階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.0	設備			テレ		及び「建造物に を受けるものと	よるテレビ受信障害調査要領 する	、地エテンダル放送)」の	▼利加バーより調宜を行	い、回励云の技術
		水 槽 類		1.0 0.6	0.6	л	1 変圧器移動車輪	75kVA以上に取付。	ビ 電	2 テレビ電波受信障害調査時期					
	地下及び1階		1.0	0.0		=n. /++	2 デマンド監視装置	● 本工事 ● 別途工事	波 受	2 テレビ 电波 受信 障害 調査 時期 3 受信する受信波及び地点数		中间 ☆ 争仮 波: 地点			
	心」及い「阳	い振文符の候器 水 槽 類	1.5	1.0	0.6	設備	3 盤内照明	前・後に設置する。	「「」「」「」」「」」「」」「」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」「」」」「」」」「」」」「「」」」」	- ヘロノッスロ峡ない心示双	中経局	波: 地点			
	ト届陛の完美の人のの時代			粛っ陛 13陛いト・ト	롴 ∧ 陛					4 報告書提出部数		 ● 中間 部 ※ 事後 	後 3部		
		· 取工帽、アンラ帽建·工層Zp を除く各階で上層階に該当しなし		皆5阳、15阳以工·工)	自 4 旧		1 交流無停電電源装置 (UPS)	停電補償時間(分)							
	水槽類には燃料小出槽を含む					電力貯蔵 設備		方式 (● 常時インバータ給電方式 ● ラインインタラクティブ方式 ● 常時商用給電方式)		1 機器取付高					
	重要機器 (● 配雷盤	 ● 非常用発電装置 ● 交換 		原装置 ● UPS装	置					機器取付高は下記を標準とする	。ただし、天井高	3m以上の場合及び機器の使	用に支障がある場合は監督	戦員と協議する。	1
		信機 ● 中央監視制御装置)		1 自家発電装置	運転時間(h) 系統連系(● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無)	名称	測点	取付高(mm)	名称	測点	取付高(mm)
		用水平地震力の1/2とし、水 ³				6	 ディーゼル発電装置 	出力(kW) 配電盤外箱(● 有 ● 無)		電 取引用計器	地上~窓中心	1,800~2,000	表示盤	床上~中心	天井高×0.9
		アンカーボルトの許容耐力と選び			旨針2014年	 ₽	 ガスエンジン発電装置 	保安装置(重故障項目特記 ● 有 ● 無) 外部用端子(● 要 ● 不要)		カリン開閉器 共二の一引込開閉器 通	地上~中心	1, 800~2, 200	■ 壁付発信器 表	"	1, 300
	版」((一財)日本建築も					電設	● ガスタービン発電装置	減圧水槽及び初期注水槽の材質(● 鋼板製 ● ステンレス鋼板製)		<u></u> 一			ベル、ブザー、チャイ		2, 300
26) 接地極	接地極の材料は次による。					備	 熱併給発電装置 	オイルタンク(● 地下 ● 屋内)		分電盤・OA盤・実験盤	床上~中心	1,500(上端1,900以下)	受付押ボタン(一船		1, 300
	接地の種類	記号	接地抵抗值	接地	極		 ● 燃料電池発電装置 	据付:機械設備工事標準図 (● 施工30、32 (タンク室無し) ● 施工31、33 (タンク室有り))		スイッチ	11	1, 300	電源箱	床上~下端	300
	 ● 共同接地 	EAED	10Ω以下 EE	B×3連-2組				燃料小出槽(22):返油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは通過形接点とする。	16	パ (多機能トイレ)	11	1, 100			
	 ● 共同接地 	EAECED	10Ω以下 EE	B×3連-2組				材質(● 鋼板製 ● ステンレス製)		コンセント(一般)	"	300			
	● A種	EA	10Ω以下 EE	B×3連-2組					そ		//	150	外部受付用インターホン(-		国による
	● B種	EB	Ω以下 EE	B×2連-2組				排気系統配管断熱材の厚さ(mm) ばい煙測定口 (● 設ける ● 設けない)		(台上)	台上~中心	150	藤 一 歴 は 一 歴 仕 加 よ ち 、 (上記以)))))))))))))		1, 300
	● C種	EC	10Ω以下 EE	B×3連-2組			○ 十四小 ※ 雨井平		の	(土間)	床上~中心	800~1,300	導 壁付押ボタン(多機能トイ 支 援 時分類があい(多機能トイ		900
	● D種	ED	100Ω以下 EE	B×1			2 太陽光発電装置	系統連系 (● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無)		パ (車椅子用)) "	900	接 壁付押ボタン(多機能トイ	"	300
	● 高圧避雷器	ELH	10Ω以下 EE	B×3連-2組				公称最大出力(kW) 耐風速(m/s) パローコンディジュナ (相 絶式 V) 完故家号 (LMV)	他	灯 ブラケット (一般)	"	2, 100~2, 300	床転倒時用		
	 ● 交換機用 	Et	Ω以下 EE	B×3連-1組				パワーコンディショナ (相線式 V) 定格容量 (kW) 自立運転機能 (● 有 ● 無)		(踊場)		2,000~2,500			
	● 通信用	E A t	10Ω以下 EE	B×3連-2組				□ □ ┘ 唑 転 (● 有 ● 無) 表示装置(● 有 ● 無) 方式(※ 液晶 ●)		// , 蜆上/		150	機器収容箱		200
	● 通信用		100Ω以下 EE	B×1			3 風力発電装置	 衣示表直(● 有)● 無) 万式(※ 液面 ●) 系統連系(● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無) 定格出力(k) 	V)	壁掛形制御盤	床上~山心	1,500(上端1,900以下)	一テ 機器収容相 レ テレビ端子	床上~中心	300
	 電話引込口の保安器用 	ELt	100Ω以下 EE	B×1			∽ ////////////////////////////////////		.,	動 手元開閉器	·小二 丁心 //	1,500(工编1,500以下)	レ ビ ー ン ビ ー ン し 端 子 (和室)	床工~中心	150
	● 測定用	Εo	— EF	B×1			1 交換装置	局線応答方式 (● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイヤルイン方式	_	サル用用品		1, 300			100
							4 入仄衣巴	 「同称中枢百万式 ● 万取中枢百万式 ● ダイマルイン万式 「ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式) 				1,000	信		1, 500
	(連結の場合、EBはD=14	4 L=1500 または W=	=40 L=1200と	とする)		7				端子盤	床上~下端	300	受信機・副受信機	床上~操作部	800~1,500
		oの場合、EBはD=10 L=			以上とする)	構	2 保安器用接地	※ 本工事 ● 別途工事		構保安器箱	天井下~上端	200	火機器収容箱	// //	800~1,500
		D=14 L=1500 または		200とする)		交 換	3 壁付電話機との接続	☆ サーチ ジェラージャック ● 電話用プレート		交 壁付アウトレット	床上~中心	300	び 発信機	床上~中心	800~1,500
② 屋上、屋側の支持金物等		融亜鉛メッキを施したものとする		- /- -		設備	4 回線数	内線 / / 回線 局線 / / 回線(現用/実装/容量)		// (和室)		150	報 ベル	天井下~上端	200
	外気に面する壁、スラブ等で打						5 電話機	 ● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台 					知表示灯	<i>II</i>	200
29 アスベスト含有建材の処理		(建築工事編) 9章 環境配慮さ するにはな	政修工事 1節 石綿含	国有建材の除去工事に。	たる。			 デジタルコードレス電話機 台 ● Ⅰ P電話機 台 			床上~中心	1,500(上限1,900以下)			
	処理を行うアスベスト含有建木]		6 電話機への配線	卓上電話機1台につき次のものを見込む。		気 子時計	"	天井高×0.9	ガ ガス漏れ中継器	天井下~中心	300
	建材の内容・箇所	仕様等		処理を行う範囲				 ・ボタン電話機(● EM-BTIEE 0.4-2P ●)(※15m ●) 		Ē+			ス検知器(都市ガス)	天井下~下端	300
								● 内線電話機 (● EM-TIEF 0.65-2C ● TIVF 0.65-2C) (※ 15m ●)		拡 壁掛形スピーカ	床上~中心	天井高×0.9	検 // (LPガス) 床上~上端	300
		 系る施工業者の登録制度による	 ● 録業者を任田才ス+	ものとする				● 多機能電話機(● EM-BTIEE 0.4-2P ●)(※ 15m ●)		声壁付アッテネータ	11	1, 300	知		
		**る心工来100豆球前度による5 よ、同仕様書によるほか、労働5			甲及び清掃に			● I P電話機 (● EM-UTP 0.5-4P ●)(※ 15 m ●)		2 工事のため送雷線及び配雷線の)近くで作業すると	きは、事前に中国雷力に連絡	し、事故防止に怒めるもの	する。	
		よ、同社報告によるほか、5番5 方規則、鳥取県石綿健康被害防1								2 工事のため送電線及び配電線の近くで作業するときは、事前に中国電力に連絡し、事故防止に努めるものとする。 ┃ Ⅲ. 機 材					
						8	1 マルチサイン装置	イメージスキャナ(● 設ける ● 設けない)	π						
 施工調査(分析によるアスベスト含有建材の調査)を行う。 分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。 アスベスト粉じん濃度測定を行う。 (測定時期:測定場所:測定点:) 			,kate	2 出退表示装置	制御装置(●壁掛形 ● 埋込形 ● 据置形)			国に仕様等が明記	してあるものを除き、原則と	して標準仕様書に規定する	の及び(一社)公共	建築協会発行の「			
		報表		呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)		工事に使用する機器及び材料は、図面に仕様等が明記してあるものを除き、原則として標準仕様書に規定するもの及 築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による。									
		示設	3 時刻表示装置	親時計(●壁掛形 回線 ● ラック形 回線)	-	ただし、盤類は上記によるほか以下					鳥取				
		の設備)及び更衣設備等を設ける			-	備		太陽電池式屋外時計(点灯時間 h 点灯保証日数 日)		(㈱永井電機工業所		。 (有平木電機産	業		CARARARA DARARA KARARA BARARA BARARA BARA BARA BAR
		里場所をプラスティックシート等		份じん飛散を防止する。						小林制電有		(湖)トー・モレルー			令和5年
)				Ŭ	1 プロジェクタ	光出力(● I形 ● I形 ● II形) 解像度(● A形 ● B形 ● C形)		勝英產業㈱		(有)増岡電機製			J23011
	対象箇所(/				映像音響		コントラスト比 (• X形 • Y形)							東部建築住
	対象箇所(呀1家 目音 設備									
	対象箇所(設備						1			事務所
改定版	対象箇所(, 				設備			等学校受到	吃電設備更新工事		1 . . .		⇒ [.	
 改定版	対象箇所(, 				設備							」根 設	計	

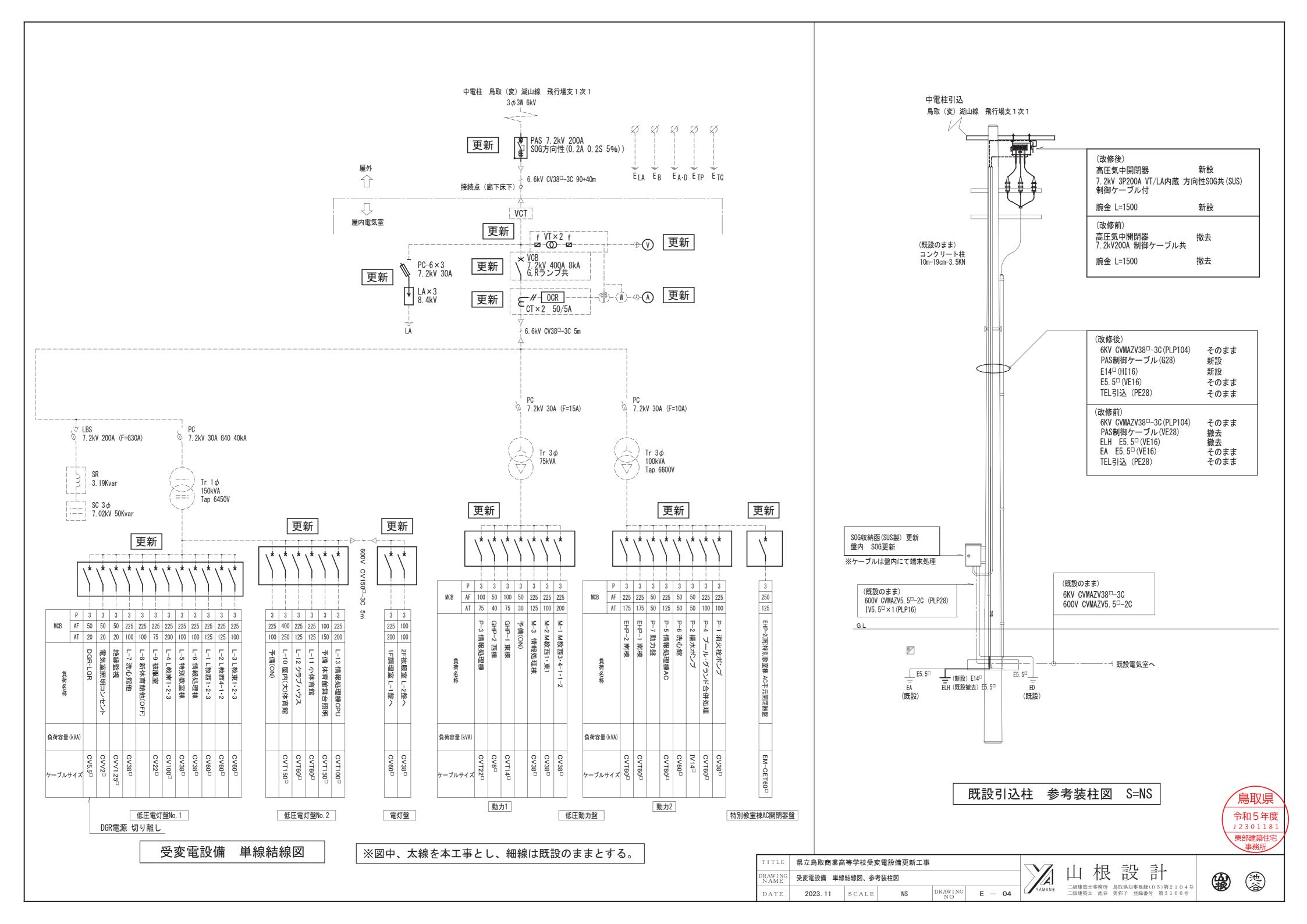


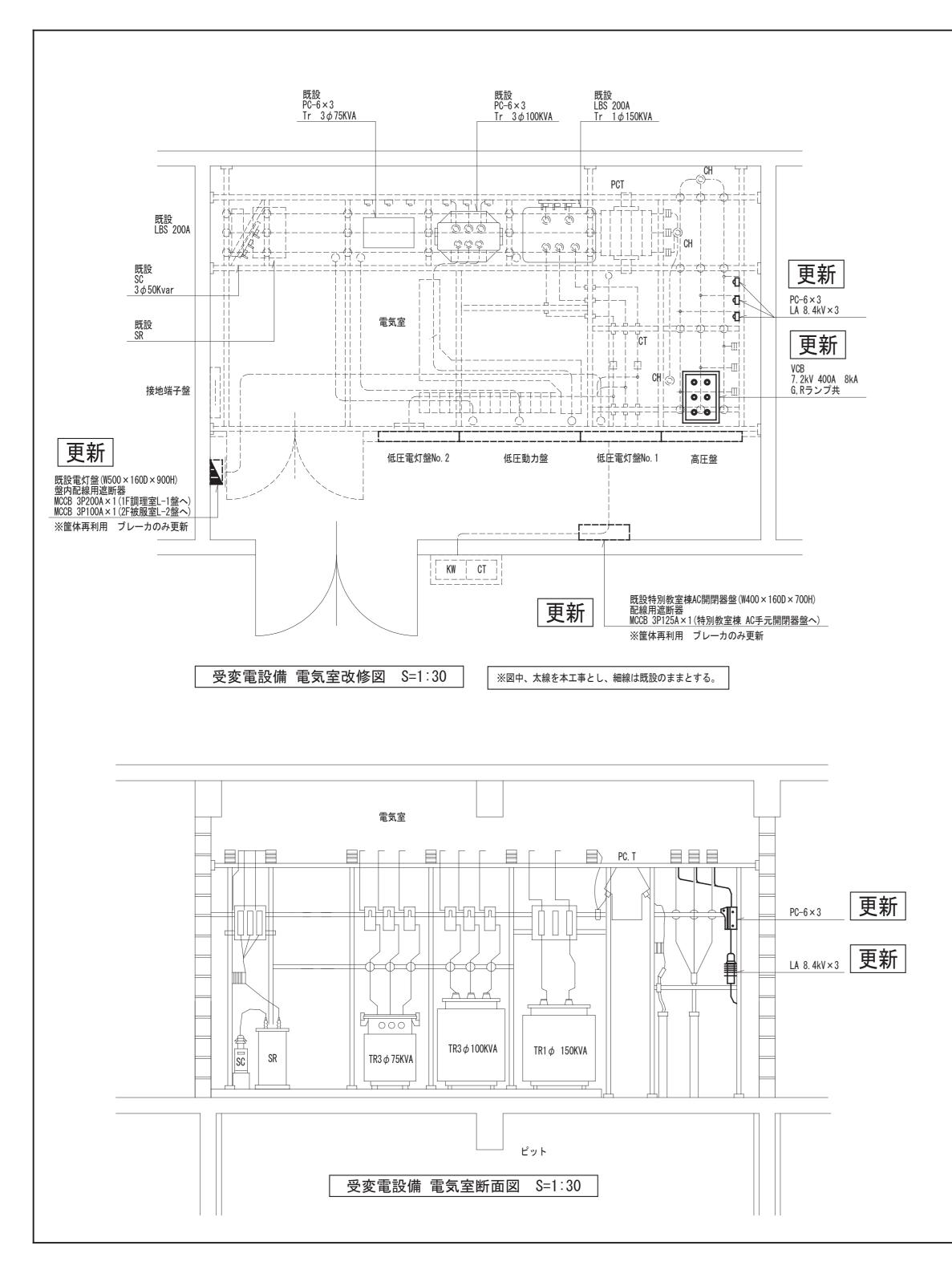
一 工事概要 一	
受変電設備機器の更新	
 高圧気中開閉器更新(200A)(VT内蔵,方向性S0G共) 高圧避雷器更新(カットアウト共) 真空遮断器更新(7.2kV,400A,8kA)G,Rランプ共 電圧計、電流計更新 計器用変に器(高圧)更新 計器用変流器(高圧)更新 耐圧試験 配線用遮断器更新 過電流継電器更新 	1台 3台台 1台台 1台 36個 1台

作業条件

 停電作業は指定日で作業完了することとし、不測の事態においても 必ず復電すること。(後日作業を行うものとする)







受変電設備 更新機器リスト

※施工の際は、事前に仕様を確認すること。

機器名称	仕様	数量	備考
真空遮断器	7.2kV 400A 8kA	1	G,Rランプ共 (既設:東芝 V10-U)
電圧計		1	(既設:東芝 RF8-V)
電流計		1	(既設:東芝 RF8-A1)
計器用変圧器(高圧)		2	
計器用変流器(高圧)		2	
PC-6 高圧カットアウト	7200V 30A	3	
避雷器	8.4kV	3	
過電流継電器	_50/5A 	1	(既設:OMRON COS-OHT-F4)
配線用遮断器	単線結線図参照 盤正面図参照	36	

